

中和教会だより

第45号

昭和五十五年五月二十四日
戸塚区中田町二七〇一
中和教会広報委員会発行

「気かん坊」

委員長 東原秀夫

過る日曜日、即ミサの後で日曜学校の入学式が行われた。
名前を呼ばれ素直に返事をして立ち上る子供達を見ていて遠く過ぎた日を想い出した。
子供仲間の中には「気かん坊」と云われる子が必ず一人や二人は居た。いわゆる「力キ大将」ではなく云々は「匹狼」存在で、身体も大程太く、力でもなく、成績も決して下の方ではなし、健康で負けん気が強く、かと言って弱い者いじめをするでもなく、少し位の苦しさや辛さにはへこたれず、しばしば人の意表をつくようないたづらをする。そして言動にはそれなりの主張とその姿、気性は別として、うしろものを持っていたのが「気かん坊」の共通したフロアールのように思えた。

いたずらをして叱られてもふくれっ面をして唄いて居る。気かん坊の姿を遠くから眺めて「い、気味だ」と口では云いつながら内心何かをいれない感圧を感じたものであった。
今日、日本は三十年代前のごん店から遠く上って世界の経済大園にのし上がり、国民全体が、中位なりある春の時代となった。
しかし80年代を迎えて我々の周辺には予想外の厳し、條件が次々に発生してきており、これから別の意味の「気かん坊」が、飢・寒・乏・と、文字通り「飢」と「寒」と「乏」とである。
三十年代前あの飢・寒・乏時代も今は昔語りとなり、その記憶すら忘れられようとしている。まして、今に生きる子供達には全くの未知の出来事ではあるが、世界の僅か一握りの指導者達の過ちが我々を再び「飢・寒・乏」の時代に追い込み、まなことも限らない、少くともそうした時代が絶対にないと言う保証は何処にもない。

よく過保護と云う言葉を聞くが勿論、子供達に必要なる「みや」辛さを経験させる必要はない。
しかし又、これからの時代を生きてゆく子供達には、この「飢・寒・乏」に耐える気力と体力が必要なのである。求めれば殆んどが叶えられる、痒いところには手の届く周囲の庇護と、一方的な考案の中心で育てられた青白い秀才では「飢・寒・乏」の時代には厳しきがある。
日曜学校の子供達が少々の辛さにへこたれることなく、負けん気で健康な、そして心は何時も神に向いているそんな「気かん坊」になってくれることを秘かに祈りました次中である。



「聖体大会」

六月八日(日)午後二時から
雙葉学園講堂において
聖体大会が行なわれます

五月委員会報告

五月二日(金)開催、次の事項について話し合いを行う。

- (一) バザーの件
バザー当日の役員決定、及び役割分担、その他最終打ち合わせ。
- (二) 夏季学校の件
八月に予定(八月五日・六日・七日)とされている夏季学校についての検討。
- (三) 前庭排水溝工事について

壮年会報告

奇数月の第一日曜日にあたる五月四日、壮年会の創会が開かれました。

(一)

前庭整備の件については準備委員会からのリポートであられる五十嵐氏が健康を損ねておられる実況が告げられておりますが、健康回復を待ち、次々工事着手するとう運びになりました。
凡その実施日は六月以降になる予定です。労働奉仕については皆様の御協力を節におねがい致します。

(二)

バザーの件について親睦をかねた模擬店の開催には前年同様、様々となり、遊ばざる等を壮年会で担当し、会場準備、あと片付け等の協力もよろしくおねがい致します。

(三)

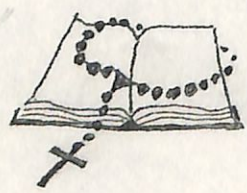
宮下神父様ヨーロッパ即旅行に對し壮年会より饗別の金一封をおめたし致しました。

婦人会だより

バザーを一周前後にひかえ、五月の創会十八日(水三日曜日)九時ミサ後、行われました。
食堂売りの最後の日とあって

みんながそちらの方に殺到して(食券は当日売りもあります)なかなか南会できませんでしたが、バザー当日の仕事の確認、用具の確保、すし米の分配など具体的な話し合いをしました。
またみなさまからの心のこもった製作品がぞくぞくと集まっていき、バザー近しの感が充ちていきます。

- ◎ 五月十九日(月)十時から—— 値段つけ
 - ◎ 五月二十四日(土)十時から—— 前日の準備(主に食堂)
 - ◎ 当日(二十五日)八時三十分までに教会に集る。
- などを決めて終りました。
みなさまの協力によって、お恵みのうちにバザーが成功しますように。



中和田教会だより

昭和五十五年九月二十七日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員発行
オ46号

信仰は神の恵

主任司祭 宮下神父

世の中には信じない者又信じよう
としない者が沢山居ります。イエス
様は天の父なる神様が御寄せて下さ
りなかつたやうに誰も私のところへ来る
とは出来ないと信じて居ることは出来
ないと申されました。(ヨハネ六章)私達が信者
として生活して居るのは全く神様の
恵みによるものです。

永遠の生命への問題は人間の頭でわかる
ものでもなく目で見えるものでもありませ
ん。私達にとつてむづかしい問題の一つを
たとえをもちて教へて下さうのがオース
トンの福音にありませう。

地獄の炎の中で苦しんで居る金持がラ
ザロを父の家に遣して下さい。私の五人
の兄弟がここに来ないやうに。とアラ
ラムにお願ひ致します。アララムは答
へて彼らがモーセと予言者の教へに臨むな
かつたやうにと死んだ者が出て行つてお
いても改心しないやうにと云つてお願ひを
して下さいます。(ルカ十六章)

イエス様は天上の神祕を述べられる

中学生合同合宿 より

夏期合宿 石井伸雄

八月七日から丹波山村での二俣川
教会との中学生合同合宿に参加し
ました。一番楽しかったのはキャン
プファイヤーとさもたけでした。キャン
プファイヤーではフォークダンスを
したり花火をしたりしました。僕の班で
はギター歌など一番よくできました。
さもたけは少しも恐くありません
でした。もつと恐いものかよかったです。
です。たゞは火の玉とかまた
ミイラとか……。

今から来年の夏期合宿が楽しみです。
これが青春といふものでしょうか。

二俣川教会との合同合宿

を終えて 阿部洋子

八時五十分前。私は母と一緒に相
鉄線の改札口に着いた。そけの口
カリーの前に二人の中学生が立っ
て居る。

「あの……二俣川教会の方でしょうか。
」
「ええそうですか。」
「あ、中和田教会の者ですか。」

時耳ある人は聞きなさい。と又見ない
で信じる者は幸いですと云われました。
神様の御心へ教会の御心へに對して
忠実であるように自分で自分をばけま
しなかつたやうに祈りなさい。

金祝

ルカ荒井司教様

教区一教会主催でルカ荒井司教様
様の司祭叙階五十年(金祝)のお祝が聖
園で挙行され九月二十三日に行われ
ました。

九月委員会報告(九月五日開催)

一 敬老会の件。該会者十九名

十月十二日(日)中和田教会にて小宴

開催予定

二 夏期合宿報告

三 七八月会計収支報告

お知らせ

一 九月三日(月)から十月四日(土)まで
宮下神父様懇話会のため泊りに
なりました。初金のミサと土曜日の
ミサはごさいません。

一 十月はロザリオの月です。九時の御
ミサ前八時三十分からロザリオ一環

こんな具合に私の合宿が始まりました。八
月の七日から十日まで奥多摩で
の合宿である。とにかく私の教会か
ら行ったのは二人だけだったので
とつても忙しかったのだが、すぐに
友達が出来たため行きから合宿
が楽しくなりました。向こうに着いて
からは飯倉さんや山登り、キャン
プファイヤーなどがあつて三日四日と
いう日数はあつたという間に過ぎ
てしまった。

合宿の話は合宿で一番印象に
残つたのは「土呂久」のことである。
「土呂久」なんてどうも、みんなさう
思ふかも知れない。私も初め聞い
た時は何のことかさっぱりわから
なかつた。実は、これは公害病の出
た村の名前だったのである。

土呂久の土地は砒素を含んで
いるため以前ある会社からそれを
取り出さうとして煙を出し、その
煙によつて公害病患者が續出
したのだ。しかしそれを認め
てくれないうちに患者の方が裁判を
起し、今一生懸命運動をして
いるのだ。二俣川教会の中学生の会
ではその方々のためにお金を集
めそれと一緒に手紙を送つて、い
るそうです。

を賜ふましよう。
婦人会だより

夏休みを終つての九月の例会は二十日
日曜九時三十分に行われ、
会長さんより委員会報告の後婦人
会の遠足について話合われ、
候補地もいくつかあつた。委員会に
合意した結果、次のように決定され
ました。

十一月六日(水曜日)

・ 相模原市の森、バス旅行

・ 会費千五百円(昼食代を含む)

当日八時四十分集合(九時出発)

雨天決行、尚帰りは四時頃の予定

・ 親睦を深めるため、皆さん時間の
都合をつけて御参加下さい。

彼岸も過ぎて、めづり秋らしく
なり衣替えの時期となりました。の
まだ不慣れな衣料も出てくること
でしょう。十月の例会には、それら
を持ち寄つて衣料交換会を致し、
御協力下さい。

紹介

フランシスカ 明壁悦子さん

瀬谷区阿久和町三三〇一

TEL 三六二一・二五七九

今度森野教会より転入して、いっしょに
います。皆さんよくお願い致します。

私は他の教会の中学生の活
動内容を知り、私達の教会のこ
とを考へてみたところ、自分のため
になることしかやつていないのに
つぎました。

もつと世の中を広く見て、
他人のためになる活動をして、
どうだろうか。私は感じました。
合宿を終えてみると表面的に
は楽しい、とはかりました。反面中
学生の活動、というものに深く着
きかされた四日間だと思ひます。

聖書と典

「聖書と典」日曜日御ミサの時に
手にするこの聖書と典のオ一ペ
ーに「今週の聖書朗読」という欄が
あります。これはその週の御ミサの
聖書朗読の「一」を表しています。ですから
この表に従つて毎日聖書を読むた
めに、この表があるのです。

教会で御ミサのとき、聖書と典
を受けとつたら、ミサが終つて
帰るとき捨てたり、返したりせず
に家へ持つて帰つて、その一週間の
聖書朗読をするようにおすす
めします。

いたのに。今日それがはつきり。私達は神様の一部分にいられるとわかつたので、とてうれしかった。私は今日は、ただ自分達で食事を作って遊ぶにとらういしかやらないと思つてゐたのに、こんなすばらしいことがわかつて今日はほんとに末てうれしかったです。また、今度こんな集まりをしたいと思つた。ほんとうにすばらしい一日でした。

神秘体

五年 福島恵美

私達は今日神秘体のことについて神父様から聞きました。最初はおもしろいと思つたけど、だんだん分かつてきました。ぶどうの木のとてよくわかりました。イエス様はみきであつて私達は実である。

- 一 私たちが人に生まることは仲間を大切にすること
- 二 けんかをとめる
- 三 手伝いをする

四年よりを大切にすること
五 看病すること
そういふことがいろいろとできます。これからもういろいろのことをやつていこうと思つた。

神秘体のこと

六年 小山みどり

私たちは、神様の一部分、みんなとケンカなどしてはいけなと神父様からおわかりました。これからケンカなどしてはいけなうに努力しようと思つた。あと人にめいめくをかけるはいけなだけでなくて、自分一人でも悪いことをしてはいけないということがわかりました。

私は弟や妹とよくケンカをするのでこれをやめてお母さんにおこられたときなど、きかないふりをして、知らんぷりをしているときもあるので反省をしなければいけないと思つた。

神様の一部分なんてウソかたいけど、なるべく罪をおかさないようにしようと思つた。

中和田教会だより

お願い

十月十九日は全世界のカトリック教会で世界布教の主日。記念され世界各地における布教活動のために特別の祈りと献金が求められることになつております。

教皇ヨハネパウロ二世はこの日のため特別のメッセージを寄せられ、オーストラリアの中で兄弟たちがキリスト信者にならういのひは、その相当数の場合、彼らにキリスト信者となるよう働きかける人が不足しているという単純な理由による」との聖フランシスコ・ザビエル(布教の守護者)「日本へ最初に来たイエズス会神父」の嘆きを、ご自分のものとして繰り返され、次の諸点を強調なさいます。I. すべての人に神のみことばをのべ伝えることは教会の基本的使命であり、福音宣教こそ兄弟姉妹に対する最も価値ある奉仕

昭和五十五年十月二十五日
戸塚区中和田町二七〇一
中和田教会広報委員発行

II. 神のみことばがまだすべての人に身近なものとなつていない現状において、各地に宣教者を派遣し、その使徒的活動を支えることは、教会の今日的課題であること。

III. 全教会の信者は、宣教者の召しへの増加のため、またその実り多き使徒的活動のため、祈りと犠牲をささげ、また献金し、物質的援助によつて協力すべく招かれてゐること。

私たちはこのパパ様の教えに、そして神の王国の建設のため、力強い協力者とならねばならぬと思つた。

もちろん日本はすでに、ゆるゆる布教国であり、日本の教会は外国の信者の援助を必要としてゐます。しかし同時に諸国に福音をのべ伝えるため、全世界で活動している普遍的教会の一員でもあります。多くの方々の援助を受けてゐる私たちであれ

幸いであるすべて神を

おそれ神の道を歩む

あなたはみずから歩いて

得たものを食べ

幸いと恵みをうける。

あなたの妻はブドーの木

ようだ。

家の奥にいて多くの実

をむすぶ

かれらは、にぎやかに食卓

をかこむ

神をおそれる人は、この

ように

祝福される。

詩編128

祝洗礼

はあ、ただ全世界における教会の使徒的活動を支持するため積極的に協力するつとめがあると信じます。

全世界における使徒的活動のため特にこの布教の主日の機会に祈り犠牲献金をささげくださいますよう、信仰弘布会の担当者として心よりお願い申し上げます。

信仰弘布会担当
司教 松永久次郎

祝洗礼

マリア 谷口アキ
マリアクララ 中島美子
豊かなお恵みを心から祈ります。よう。

委員会報告

十月九日(水)開催

一 敬老会開催の件

十月十三日(月)出席者十名
十一時ミサについで敬老会開催

中和田教会だより

昭和五十五年十一月十九日
戸塚区中田町三〇一
中和田教会広報委員会発行

ありがたいみ言葉

主任司祭 宮下神父

心をさわがせることではない。神を信じそして私をも信じなさい。私はあなたたちのために場所を準備しに行く。そして行って場所を準備したう、あなたたちをいっしょに連れていくために、私は帰って来る。私が居るところ(天国)にあなたたちもいさせ度いからである。私が父(天の神様)に居り父がわたしに居られることとをあなたがたは信じないのか、私が話していることは私自身が話しているに居るのではなく、わたしのうちに居られる父が自分のわがやを行って居られるのです。わたしは父に居り父がわたしに居られると私が云うのを信じなさい(ヨハネ14章)弟子達

にこうお話しになった。翌日にイエズス様は十字架にかけられておなくなりになりました(ルカ23章)人間からみると罪人として処刑され捨てられ、たように見え、イエズス様の宣教はあわれな様相で終つてしまつたように見えますが、神の御計画は人間を救うためのおはからいの人々にみせるためでした。啓示を受けた聖パウロは天の神様は天地万物の造られる前からキリストのうちにわたしたちを運びわたしたちをイエズス・キリストによつて御自分の子にしようとして神は愛のうちに初めから定めておられた(エフエゾ1章)と云つてイエズス様の御生涯、十字架の御苦難、御死去、御復活は救済の救いのためであつたことを教えて居ります。聖書は信仰をもつて読む者

に聖霊の恵みによつて理解する力があたえられます。イエズス様のみ言葉が心の支えとなるように心して聖書に親しむようにつとめましよう。以上

祝フランチスコザベリオ

宮下神父様の御聖名の祝日
十一月三十日(日)九時ミサ後
お祝いを行います

委員会報告

十一月七日(金)開催
一、オ二回クリスマス
市民のつどいの件
十二月六日(土)戸塚センター
三階ホールにて開催、戸塚区
宿中和田三カトリック教会
の共同主催により行う
二、教会財政問題について
建設資金返済完了に伴い
今後の教会運営資金問題
について検討結果補助金を
受けずに自主独立財政の
確立出来る中和田教会に
成長させたく、引き続き皆様の

方の御協力をお願いしたい
と思ひます

三、堅信の軌跡について

来年五月又は六月を予定して準備検討
四、黙想会について
待降節オミ主日十二月十四日(日)九時ミサより黙想と共同告解を十二時まで行います。尚指導司祭として他の神父様をお招き致します。

五、クリスマスとパーティ

十二月二十四日(水)夜八時より御ミサその後待降節パーティ。子供達の寸劇を夜七時三十分より行います。

婦人会だより

十一月例会は十六日(日)九時ミサの後二十七名の参加者で行われました。今年度もあつた一ヶ月となり大勢参加されなごやかに過ぎました。長さんのお祈りに始まり、奉賛会報告の後、先行行われた遠足について報告がありました。予足遠足は参加者二十九

当日は好天に恵まれ彫刻を觀賞したり食事の間も楽しい会話を交わさかたでも豊かな時を過ごしました。時間之余裕がありおしゃべりしたので大湯呑まで足るのばしあらためて神の創造の偉大さに感銘を深くさせられました。

お知らせとお願ひ

十二月七日(日)九時ミサ後大掃除を計画しております。皆さん御協力下さい。
今年度もあつたわがやですが婦人会費が未納になつて居る方が大部いらっしゃいます。忘れておられる方は早めに納入下さるようお願いいたします。

マリア・クララ、中島喜美子様
マリア・ア、谷口アキ様
二人が十月十二日めでたく洗礼をうけられました。ふれか人も豊かなお恵みのうちに婦人会の一員として御活躍下さい。お祝いをお願いします。

十二月のよみ

待降節・降誕節
十二月七日(日)無原罪の聖マリア
十二月八日(月)黙想会共同告解
十二月二十四日(水)クリスマスミサ
十二月二十八日(日)聖家族の主日

オ二回 クリスマス 市民のつどい

日時 12月6日(土)
場所 戸塚センター 三階ホール
時間 PM 5:30 ~ 8:00

オ一部、クリスマスさんび歌地
オ二部、映画「愛のアンジェラス」
無料です、お誘い合せの上是非
ご来場下さい。

昭和五十五年十二月二十四日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員会行

主任司祭宮下神父

イエズス様のお生れになつた年を西暦紀元元年として今年は一九八〇年に当ります。地球上の人間の歴史を紀元前と紀元後に分けた不思議な人の御誕生がクリスマスであります。御誕生の時のことについてルカ書をみますと、ベトレヘムの近くで野宿して夜羊の番をして居た羊飼達に天使があらわれて、『今日ダビドの町であなただちのために救主がお生れになつた。すなわち主キリストである。あなたたちは布につつまれてまぐさおけに包ませてあるみどり子を見るだろうか。それがしるしである』といわれた。

羊飼いたちは相談して、すぐに急いで行き、マリヤとヨセフ

とまぐさおけにおかれたみどり子を見て天使が話したとおりのことを見聞したので神をおがめたたえつつ帰って行つたとあります。

此の布につつまれて、まぐさおけにねかされて居つた幼児は三位一体の聖父と聖子と聖霊のオニのペルソーナである。お方が神のペルソーナと神の本姓を持つたままマリヤ様から人間の体を取つて眞の人としてお生れになつたお方であります。此のことについてヨハネ使徒は「はじめにみことば(キリスト)があつた。みことばは神とともにあつた。みことば(キリスト)は神であつた。……みことばは人となつて私たちのうちに住みわたした。……彼をうけ入れた(信じた)人々にはみな神の子となる能力をさづけられ、……」と福音書に教へて居られます。

マ
ル
コ

山田桂一

皆さんは自分で信者になつて洗礼をうけたと思つて居るでしようが私達の信仰は神の恵みとしてあたへられたものでヨハネ六章信仰によつて永遠の生命への希望のうち

に生きて居るものです。信徳と愛徳と望徳の恵みがつよめられるように幼児のイエズス様マリヤ様ヨゼフ様にお祈りいたしましやう。

以上、

マルコ 山田桂一

豊かなお恵みを心から祈りましよう。

十二月五日(金)

一、当教会の運営現況について
建設返済金返済完了に伴い
その御礼と今後の運営につ
いて皆様の理解ある御協力
のお願ひ(詳細は十二月二十
一日(日)当教会の運営現況に
ついてを配布)

十二月五日(金) 開催

二、信徒総会の件

明倫彙編
家範典
卷一百一十五
（日）

三月	主	な	曆
一月	一	日	ミサ、午前十時
一月	二	日	初金旺日
一月	四	日	御公現の祝日

今年度最後の例会は二十一
日何時にサ校に行われまし
た。師走の忙しい中を二十七
人も出席されありがとうござ
いました。今日の話し合いは
一、クリスマスの持寄りパ
ーティについて前日の豚汁つ
くりの方やクツカーを借し
て下さる方の確認など。
二、新年会について新年の一
月十八日(水)三日(土)九時
にサ校に行います。会費は千
三百円前後。
三、来年度新役員紹介
会長 長エリザベト 位田 裕子
副会長 ペルペチア 石井 悠子
書記 モニカ 岩崎 好愛
会計 ルチア 森田 千恵子
顧問 ジョシマ、カガニー 甲斐 多子
典 礼 マリ ア 荒木 捷子
神父様 から以上の方々の錫

介
か
あ
り
ま
し
た。

旧役員に對してねざうい
 のお言葉があり議論をする
 時には大いに意見を出し合
 い一旦ことが決定したらそ
 のもとについて皆協力して
 行つて下さい。そしてより
 結束した婦人会になります
 ようにとのお言葉がありました。

四、連絡網掃除
 ついて。二月から新しい組
 合せで行うことになりました
 ので変更したい方は早目に
 申し出て下さい。

五、クリスマスプレゼントを神
 父様へ差し上げました。佐
 藤操へ花巻を差し上げまし
 た。

阿部会長の辞任挨拶の中で、
とて心に残る言葉があります。
したので要約を御紹介します。
『三年間に亘つて副会長、会長
を務めさせて頂きましたが皆
さんの御協力により無事に役
を果すことが出来てありがと
うとございました。先日司教様
の講演を伺った時、外国人はこ
んな風に日本人を評価してい

一月四日(日) ~ 一月三十一日(水)

有樂町 とう五階にて
前売券を希望の方は玄關わき中
込用紙に記入して下さい。